
席替えの憂鬱

夜明 百合

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

席替えの憂鬱

【Nコード】

N2473W

【作者名】

夜明 百合

【あらすじ】

学校生活で避けては通れないイベントそれは、テスト…ではなく、もう一つ以外に忘れやすいのと言えば…そう!! 『席替え』!!
これはそんなお話。

(前書き)

私にとって初めての恋愛がメインの小説です。
拙いですが、是非！読んでみてください。

席替え

…それはある者には喜び。またある者には期待。それまたある者には悲しみ。

そして、ボクにとっては…

『憂鬱』である。

なぜ憂鬱になるのか？そんなの思春期なボクらにとっては周知の問題である。

「由史《よしふみ》君今日席替えなんだって〜」今、花が咲いた様な笑顔でボクに話し掛けてくれているのは僕の席に隣の宙《そら》ちゃんである。クラスではあまりパツとしないがボクはそんな彼女が…

「お、おう。そうなんだ…それにしても先生も突然だよな〜」ボクが宙ちゃんに悲しさを悟られないように気の無いふりをする

「あつ！次私の番みたいだから行くね…」嗚呼さらばボクの静かな青春よ…。うん？待てよ？今ふと思いついたんだがボクがもう一度宙ちゃんの隣を引き当てればいいじゃないか！！

一度成功してこの席だったんだ！また出来ない訳でもないよね

そしてとうとう僕の番クラスは全32人。そのうち女の子を除くと16席。現在残りクジ数7枚未だ彼女の隣は空いている。つまり、ボクが彼女の席の隣に当たる確立は7分の1である訳ではあるがそんなものは今となってはただのデータにしかならないだけで…ああ！！もう！！どうすればいいんだよ！！落ち着くんだ、クールにな

るんだ由史。パクリ？そんなもの知らんな。

自分を信じるんだ！！これだと思っただものを引け！！とは、言い聞かせては見るものの手が動かない。焦るな…信じる、信じるんだあああああああ！！！！

「おい！遅いぞ！黒須《くるす》何？悩んでるのか？」担任の深入が僕に話しかける。

「ちよつ、え？！まつ！」

「お前のはこれだ」そう言って深入はボクのクジを勝手に押し付ける。ボクは深く溜息をつく。しかした、ボクもこれ位じゃ倒れないぞ…。こうなったのも何かの運だ。深入に賭けてみるのもいいだろう…。よし！！開けるぞ！！

……ボクが引き当てた、もとい深入が引いて寄越したクジの席はボクの求める場所ではなくその席から少し前の席だった…。ハハハ…そもそも際どい戦いだっただじゃないか。なんて現実逃避をしようにもそれさえも出来ない…。

そんなこんなで2時間目

ボクの得意な数学だが、日ごろ『ここ教えて〜』とせがんで来る声が無く心が折れそうになる…。どんだけ彼女に依存にしてみただよ…。後は特に、ボクが彼女を見ようと後ろを向いて先生に怒られた位かな？

そんな数学が終わりただいま休み時間である。

我が学校は授業間の休憩は15分もあるのだ。ボクは先ほど出来なかった現実逃避を再開し、友達と駄弁っている。

さて、残り時間も5分か…次の時間の準備でもするかな？と、ボ

クが席に着く（あんまり触れたくないが…）と彼女：宙ちゃんがボクの席までやってきて

「席変わっちゃったね」でもまだ近いし私なんて授業中の由史君が見られるし〜あっ！もう次の授業が始まっちゃうー！じゃねー！…後ろだけど」嵐のようにやって来てそのままの勢いで去った行っってしまった…。

忌々しい席と次の授業である理科の教科書だけが取り残される。しかし、嵐のような彼女でもわざわざボクの席までやってきてくれた事だけで十分だった。意外と席替えも悪くないかな？なんて思ってしまうボクは現金だろうか？

毎時間彼女がボクの席で他愛も無い話をしている間ボクがずっと惚けているのはまた別の話だ。

(後書き)

こんな作品を最後まで読んでいただき
ありがとうございます。

ご感想・ご指摘なんでもどうぞ
これからもよろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2473w/>

席替えの憂鬱

2011年10月9日15時02分発行